



第14回使節団員と韓国・水原市青少年育成財団の子どもたちとの記念写真

【特集】

第14回 ゆふいん～アジア ふれあい交流子ども使節団

「日韓交流の旅」韓国・水原訪問日記

2016年7月28日(木)～31日(日)

第14回ふれあい交流使節団が7月28日から4日間の日程で韓国の水原市を訪問し、無事に帰国しました。交流先は水原市青少年育成財団。3泊4日の旅程で、2泊は韓国・水原市でのホームステイ。現地の家族と生活を共にしながら交流をしてきました。昨年度の訪問延期を乗り越えて再会を果たしました。

昨年度は訪問直前になり、感染症MERSが拡大したことにより大分県内の交流行事が中止。残念ながら訪問を延期せざるを得ない状況となりました。それでも、水原青少年育成財団の関係者の方々から暖かく迎えられ、再会を果たすことができました。

使節団に由布高校からの選抜者が加わり、心強いメンバーで訪問しました。

今回は昨年度の使節団に由布高校からの選抜者がメンバーに加わりました。由布高校の持ち前の元気と積極性をそのまま韓国の地で発揮してくれました。一人ひとりのメンバーが丸となり、大分県・由布市の代表として立派に務めを果たしてくれました。様々な文化や心温まる交流にふれて、充実した3泊4日を過ごしました。

子ども達は様々な生活や文化の違いに触れながら、家族の一員として過ごしました。感動の別れの場面が多く見受けられ、充実した3泊4日となりました。



水原市の社会教育・生涯学習の拠点である水原市文化センター内のラジオ局を訪問。



ホストファミリーとの最後のお別れ



充実した日々を過ごし、帰国しました

7月28日(木) 韓国・水原市の文化に触れ学ぶ日(1日目)

- 7:45 出発式・由布高校
- 11:30 福岡空港発
- 13:00 仁川空港着
- 15:00 DONOホテル着、水原市立アイパーク美術館視察
- 18:00 歓迎会
- 21:00 DONOホテル宿泊

由布高校で出発式。無事、韓国・水原市に到着。初日は歓迎会があり、韓国語での自己紹介やホストファミリーとの初対面・交流がありました。



由布高校で行われた出発式。出発の決意表明です。歓迎会。水原の方たちに囲まれて交流がスタート。

7月29日(金)水原市 心の交流を体験する日(2日目)

- 9:00 勸善青少年修練館・カラオケ体験
- 11:00 ロッテモール買い物体験
- 14:00 トイレ博物館訪問
- 15:00 水原市文化センター訪問
- 16:30 ホームステイ(1日目)

大雨の天候により、予定変更。公民館にあるカラオケルームで熱唱タイム。カラオケはマイクを持った人だけが歌うのではなく、みんなで歌うという形式があるそうです。



公民館備え付けのカラオケルームで仲良く熱唱。



トイレ博物館を訪問。様々な展示物に大興奮。

最近オープンしたばかりのロッテモールで買い物体験。その後、トイレ博物館、水原文化センターを訪問しました。そして、いよいよホームステイ初日。エバーランドや水原駅前、焼き肉屋など各々の家庭で楽しい時間を過ごしました。各ご家庭で楽しい時間を過ごしました。



昼食時間。辛い料理にもだんだん慣れてきました。



エバーランド訪問など、楽しいホームステイの時間。

7月30日(土)水原市 心の交流を体験する日(3日目)

- 9:00 世界文化遺産・水原華城見学
- 13:00 韓国民芸村
- 16:30 ホームステイ(2日目)

チマチョゴリを着て水原華城を訪問。その後、トロッコに乗って華城の城壁を巡りました。また、韓国民俗村では様々な体験や展示、アトラクションを体験しました。韓国の文化にふれることができました。ホームステイもいよいよ最終日。



チマチョゴリを着て水原華城を訪問。



韓国民芸村。昔の暮らしや文化にふれました。

7月31日(日) 韓国・水原市を楽しみ、振り返る日(4日目)

- 9:00 勸善青少年修練館・演奏会
- 10:30 韓国料理体験、昼食
- 12:30 買い物体験
- 19:30 福岡空港着
- 21:00 湯布院着 解団式

いよいよ最後の交流プログラム。特技披露の音楽演奏での交流。そして、みんなで一緒に料理づくり。作った料理を昼食として美味しくいただきました。とても充実した感動の4日間でした。



特技披露。ピアノ、フルート、バイオリンの演奏。料理づくりに挑戦。トッポギやお菓子づくり。

【TOPIC】国際交流事業・ふれあい交流子ども使節団

国際交流事業は子どもたちが海外へ足を運び、現地の青少年との交流や異文化にふれあう事業です。平成24年度からは子どもたちがお互いの国を行き交う相互交流が始まりました。交流先は韓国・水原市。ゆふいん財団と同じ、民間の公益団体「水原市青少年育成財団」です。

「新しい自分を知る・見つけるチャンス」がコンセプト。韓国・水原市にある水原市青少年育成財団と、お互いの国や地域を行き交う相互交流をしています。夏と冬にお互いの青少年たちがホームステイ形式でお互いの地域を滞在する交流プログラムを3泊4日の日程で行っています。

【往路／韓国・水原市訪問】

水原市はどんなまち？

- 水原市は人口110万人都市(大分全県と同規模)
- Samsungの本社工場がある企業城下町。
- 世界文化遺産水原華城がある歴史的な文化都市。



水原市の学校を訪れ、授業を見学



世界文化遺産の水原華城を視察



韓国料理の料理体験



ホームステイ家族との交流



楽しい昼食／子ども同士の交流

【復路／大分県・由布市受入】



湯布院中学校での交流プログラム



郷土料理づくりの体験



大分県立美術館訪問



由布院駅など市内の施設訪問



ホストファミリーと出会う歓迎会



湯布院のまちづくりの講演会

これまで水原市を訪問した子ども使節団

「子どもたちに国際感覚を育んでもらいたい」という想いから始まった国際交流事業。平成14年度に初めて海外への派遣を行い、今年度で14回目。これまで中国や韓国への派遣へ参加した子どもたちは延べ150人以上に上ります。



第9回子ども使節団(大学生との交流)



第10回子ども使節団(清明中学校訪問)



第12回子ども使節団(ホームステイ)



第13回子ども使節団(中学生ホームステイ)

国際交流事業のココが特徴です！

- 相互交流を繰り返すことで、その度にお互いの地域ができる範囲の交流プログラムを持ち寄ってきました。これまで「人の出会い」を大切にし、友好・信頼関係を築くことができました。
- 一般的には訪問・視察するだけの交流事業が多い中、相互交流の形式では訪問時の費用は航空代のみで、滞在費はもてなす側が負担する形式を採用。過去の事業において文化体験・視察をメインに訪問していた形式の費用で、お互いの国を行き交うことが可能となりました。
- 訪問を受け入れる地域にとっても、国際交流の輪をより地域に広げることができ、その波及効果を生むことにもつながりました。
- これまでの参加者で、APUアジア太平洋大学への入学者及び希望者が増えました。また、リピーターが増え、家族で再び湯布院にお越しいただいている例が続々と増えてきました。

富山 雄太 (33歳)



福岡市出身

岳本在住

趣味：釣り、料理、温泉

特技：投網

私は福岡市から10月に湯布院町に越してきました。これまで住んでいました福岡市との気候の違いに驚きつつ、日々寒くなりつつあるのが楽しみでもあります。以前は九州大学のテクニカルスタッフとして働いており、3年ほど前から仕事で由布院盆地の魚類調査を行ってきました。そのような中で湯布院の人たちや自然の素晴らしさ、水環境の課題を知りました。その中に飛び込んで、自分の専門性を活かして仕事をしてみたいと思い、この度湯布院に飛び込んで参りました。

私の専門は魚類をはじめとする水生生物や水環境で、それを教材とする環境学習の講師も数多く行ってきました。当財団のふれあい学習事業ではその経験を生かして子供をはじめとする地域の方々が自然と触れ合いながら学習する機会を提供していきたいと考えています。また当財団が事務局を務める「豊かな水環境創出ゆふいん会議」でも、地元の抱える水環境の課題を解決するため、みなさんと一緒に汗を流していきたいと考えています。私が川の中で作業していましたら、ぜひ声をお掛けください。

人材育成ゆふいん財団 掲示板

平成27年度

(1) 一般寄附金としてご寄付をいただきました。

- ・ 佐藤順子さま (川南) より (香典返しとして) 30,000円
温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1の推進、充実に有意義に活用させていただきます。
- ・ 足利宗彦さま (津江) より (香典返しとして) 50,000円
温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1・2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。
- ・ 大分みらい信用金庫湯布院支店さま (新町) より 120,000円
温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1・2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。
- ・ みらいしんきん同友会湯布院支部さま (新町) より 35,000円
温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1・2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。
- ・ 高田徳明さま (川北) より 10,000円
温かいご厚意ありがとうございました。公益目的事業1・2の推進、充実に有意義に活用させていただきます。

公益目的事業1

市民の0歳から100歳までの学びを奨励、援助する事業

公益目的事業2

市民の実践活動の促進を援助する事業

編集後記

1年ぶりの発行となり皆様方にはご迷惑をおかけしました。業務が蓄積していく一方で、ついにパンクしてしまいました。そうした忙しい日々が続きましたが、ゆふいん財団は様々な役割やネットワークが増えて、充実した事業運営を行うことができました。本号は国際交流事業について特集しましたが、各事業の報告を少しずつ今後の財団ニュースでお知らせしていきたいと思っております。(事務局・大澤直彦)

[人材育成ゆふいん財団事務局]

住所/湯布院町川上2863

TEL/85-4748 FAX/85-4759

E-mail: info@yufuin-zaidan.jp

HP: http://www.yufuin-zaidan.jp

[発行日] 2016年12月12日

[発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団

[発行人] 溝口薫平

[編集責任者] 中塚高江 二宮謙児

[編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します

みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>